

《研究課題名》

病理検体標本における多臓器不全と HLA-DR 陽性細胞との関係についての調査

《研究対象者》

西暦 2000 年 1 月 1 日より 2020 年 3 月 31 日までに滋賀医科大学において病理解剖を受けられた方。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している試料・情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方のご遺族におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（ 8 ）の問い合わせ先へご連絡ください。

（ 1 ）研究の概要について

《研究課題名》

病理検体標本における多臓器不全と HLA-DR 陽性細胞との関係についての調査

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2027 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 救急集中治療医学講座・藤野和典

（ 2 ）研究の意義、目的について

《意義》

本研究の結果によって多臓器不全時の免疫抑制状態の新たなメカニズムが明らかとなる可能性があると考えています。

《目的》

多臓器不全において、主要臓器における組織在住マクロファージの HLA-DR の発現が、変化しているか否かにつき調査を行います。

（ 3 ）研究の方法について

《研究の内容》

滋賀医科大学にて行う単施設の研究です。重い病気や、ひどい怪我の場合、体の中の多数の臓器が障害される多臓器不全と呼ばれる病態になります。一旦この病態に陥ると、免疫力が低下して、細菌やウイルスに簡単に感染してしまう免疫抑制状態になることが知られています。我々はこの免疫抑制状態が、免疫にかかわるタンパク質である HLA-DR が減少しているために生じているのではないかとの仮説を考え、調査したいと考えております。

《利用する試料・情報の項目》

試料としては、病理解剖を受けられた方の、肝臓、腎臓、肺臓、消化管、脾臓、胸腺、副腎の標本を利用します。情報としては、年齢、性別、死亡確認より解剖までの時間、病名、既往歴、糖尿病の有無、ステロイドの使用量、吸入酸素濃度、動脈血酸素濃度、酸素飽和度、血中ビリルビン値、血中クレアチニン値、尿量、意識状態、昇圧剤使用、血圧、血中血小板数、HbA1c 値につき情報を入手し、死亡時の臓器不全数につき調査を行います。

(4) 個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた試料・情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の試料・情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方のご遺族や代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方のご遺族や代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用することについて停止することができます。停止を求められる場合には、西暦 2020 年 11 月 1 日までに下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 救急集中治療医学講座 藤野和典

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2929

メールアドレス：hqqqicu@belle.shiga-med.ac.jp